

殺菌花粉が‘ハイワード’の結実、果実品質に及ぼす影響

花粉の殺菌処理は、‘ハイワード’の結実や果実品質に悪影響を及ぼさない

1 殺菌花粉による受粉試験

‘ハイワード’を供試して殺菌花粉による人工受粉が果実品質に及ぼす影響を調査した。

1) 試験区

アグリマイシン区、強酸性電解水区、対照区（溶液受粉）を設け、それぞれ最終的な花粉濃度が200倍濃度になるよう調整して受粉を行った。

2) 供試樹

‘ハイワード’6樹を供試した。

3) 花粉殺菌の方法



アグリマイシンを液体増量剤に添加

花粉を加える

受粉



強酸性電解水で花粉を洗浄

花粉をろ過

花粉を液体増量剤に添加し、受粉

2 花粉の殺菌処理が結実率に及ぼす影響

試験区	結実率 (%)
アグリマイシン	98.8 a
強酸性電解水	94.4 b
対照区	100 a
有意性	*

アグリマイシン区の結実率は**対照区と同等**であった。

強酸性電解水区の結実率も94%を超えており実用上の問題はなかった。

注) Tukeyの多重検定, 異なる英小文字間は5%水準で有意差あり

3 花粉の殺菌処理が果実品質および種子数に及ぼす影響

試験区	1果重 (g)	糖度 (°Brix)	酸含量 (g/100ml)	種子数 (個/果)
アグリマイシン	127	15.5	0.35	1271
強酸性電解水	134	15.3	0.33	1203
対照区	125	14.9	0.36	1259
有意性	ns	ns	ns	ns

注) 分散分析, nsは有意差なし

4 まとめ

○結実率は殺菌処理区と対照区で同程度であった。

○果実品質および種子数は殺菌処理区と対照区の違いは認められなかった。

○以上より、**アグリマイシンおよび強酸性電解水による花粉の殺菌処理はハイワードの受粉には有効**と考えられる。